

工夫が  
たくさん!

# 昼の海

まき網漁以外にも、魚の生息域や、生態に合わせたさまざまな漁法があります。ここでは、日中の漁の様子を紹介します。

幹縄の長さは  
約100~150  
キロメートル!

浮き  
幹縄  
枝縄

体長2メートル以上、重さ200キロにもなるマグロ用の釣り針(右)は、全長が6センチもあります。ちなみにアジ用の釣り針(左)は、1.2センチです。



写真提供: 水産研究・教育機構

## 太平洋クロマグロ



【生態】

日本近海から北太平洋、メキシコ湾に分布し、マグロ類中最も岸近くまで回遊する種類。小魚やイカ類等を食べる回遊魚。

## はえ縄

100~150キロメートルにもなる幹縄という長い縄に、数十メートルおきにエサと釣り針がついた枝縄をつけます。釣り針が3000本以上になることもあり、全部揚げるのに13時間以上かかることも。大変な作業ですが、魚を傷つけずに水揚げできます。

枝縄の間隔を広くとることで、マグロ同士がぶつからず、良い品質のまま獲れます。

とれる魚

クロマグロ、メバチ、  
ビンナガなど

## 底びき網

大きな袋状の網を海底に沈めてひき網で引っ張り、海底の魚やエビ、カニ、貝などを獲ります。一方で、獲りたい魚以外の生物や、ビンや缶などのゴミが入ることもあり、網の構造を工夫するなど、資源を守る取り組みも行われています。

とれる魚

タイ、ヒラメ、  
エビ、カニなど

## マダイ

【生態】

日本列島全域に分布し、水深30メートルから200メートル前後の岩礁域や海底に生息する。小魚や甲殻類を捕食する。



網目を大きくして、とってはいけな小魚などを逃がす工夫がされているほか、「石ぬき」という穴を開けることで魚を傷つける小石やゴミなどを排出します。

## ブリ

【生態】

日本列島全域から北西太平洋に分布する回遊魚。大きさが名前の変わる出世魚で、80センチ以上をブリと呼ぶ。



## 定置網

魚の通り道に、くいやイカなどで網を固定し、回遊してくる魚を閉じ込めて獲る漁法。漁場は陸から2~5キロ、船で30分程度の範囲が中心。「待ちの漁」ですが、乱獲を避け、持続可能性の高い漁法とされています。

とれる魚

アジ、サバ、サケ、ブリ、  
クロマグロ、イワシなど

囲い網

垣網

網を仕掛ける向きにも意味があり、陸側から沖側に向けて回遊する魚の習性を利用して、通り道を予測して網を仕掛けます。

大型クラゲが大量に網に入ると操業の支障となるため、出現状況の把握・予測も行われています。

いさり火として知られる集魚灯は、コスト低減のためLED化が進行中。

実際のいさり火の様子



写真提供：水産研究・教育機構

巻き取りドラムで釣り糸を巻き上げ、自動的にイカをイカ角から外します。

シーアンカー  
(船を安定させるイカリ)

## イカ釣り

イカも光に集まる習性があるため、群れを探した後、いさり火を灯してイカを集めます。強い光を嫌うため、いさり火の影になる船の下に集まったイカに対し、船底の釣り針を上させることでイカを釣り上げます。糸は自動的に巻き上げられ、船に取り込まれます。

とれる魚 スルメイカ、ヤリイカ

釣り針を小魚に見えるよう加工したイカ角。ゴム製やプラスチック製があります。



写真提供：水産研究・教育機構

## スルメイカ

【生態】

遠くからでも光を感じ、明るい船に向かって集まってくるが、強い光を嫌うため船の下に集まる習性がある。

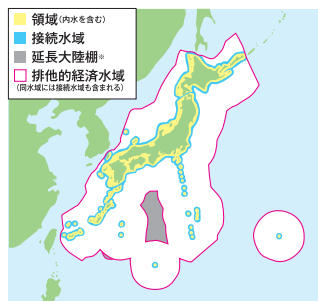
### Column

#### 排他的経済水域と外国漁船による違法操業の取締り

日本が漁業などに関して主権の権利を有する排他的経済水域では、農林水産大臣の許可がない外国漁船は原則、漁業ができませんが、許可がある外国漁船でも、漁獲量をごまかすといった違法操業が後を絶ちません。このため水産庁は漁業取締船や取締航空機によるパトロールや立入検査などにより、日本の排他的経済水域での外国漁船による違法操業の取締りに努めています。



水産庁の違法操業取締船

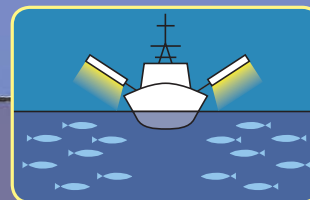


※排他的経済水域及び大陸棚に関する法律第2条第2号が規定する海域

光を利用する

# 夜の海

さまざまな漁法の中には、光に集まる魚の習性を利用した漁法があります。夜に行われる漁法を紹介します。



集魚灯に集まるサンマの様子

## サンマ 棒受け網

1940年ごろに日本で生まれた漁法で、光に集まるサンマの習性を利用し、集魚灯という明かりをつけたり消したりすることでサンマの群れを導きます。右側に明かりを灯してサンマを船体の右側に集めた後、棒受け網と呼ばれる網を仕込んだ左側に誘導して漁獲します。

とれる魚 サンマ

## サンマ

【生態】

夏から秋にかけ、北海道から東北の近くに回遊してくる。産卵期は秋から春にかけてで、寿命は2年ほど。

### 漁の流れ

